

瑞雲

ずいぶん

第96号

平成25年5月23日発行
瑞雲：めでたいしるしの雲の意

明日を拓く 直方鉄工青年会

直方鉄工青年会
第49代会長

福田 雄介

■平成25年度スローガン■

FIGHTING MAN

～夢は大きく心は一つに～

この度、平成25年度 直方鉄工青年会 第49代会長を仰せつかりました、福田雄介と申します。一年間の任期ではございますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

歴史ある会の、また創立50周年を目前に控えた大切な一年の会長という大役を拝命し、その重責に身も引き締まる思いであります。このような貴重な機会を与えて頂いた皆様に、感謝申し上げます。また、皆様におかれましては日頃より直方鉄工青年会の活動に、ご支援ご指導を頂いておりますこと、厚くお礼申し上げます。

さて、あの痛ましい震災から丸二年が経ちましたが、被災地では懸命な復旧が今もなお続いており、一日も早い復興を願うところでもあります。また、爆発的に感染者数を増やしている、中国からは黄砂やPM2.5による大気汚染と鳥インフルエンザが流行の兆しを見せるなど、大きな問題となっています。この様に我々を取り巻く情勢が混迷を極めるなかで、新政権が掲げた経済政策いわゆる「アベノミクス」が大きな注目を集めています。規制緩和やTPPへの参加そして大規模な公共投資など、日本経済が好転する政策として、大きな期待を抱かせるものではないでしょうか。

先ほども述べましたように直方鉄工青年会は、昭和39年9月15日の発足以来、皆様のおかげをもちまして平成26年度に、創立50周年を迎えます。創立40周年記念誌の『50周年に向けて～副委員長に聞く～』という企画に、当時40周年記念事業担当副委員長として「盛大なる50周年を皆様と祝いたい」と掲載させて頂き、早いもので十年近くの月日が経ちました。直方鉄工青年会の発足から今日まで心血を注いでこられた特別会員の皆様、長きにわたりご支援を頂いております関係諸団体の皆様と、盛大なる50周年を迎えるという夢は今も変わらず私の胸にあります。

昨年度、田渕前会長のもと50周年準備委員会が組織され、2回の全体準備会議を開催しました。その準備のなかで、会全体で一致団結し一人ひとりが自覚を持って取り組む事、すなわち50周年が「わがごと」であるという共通認識を持つに至りました。今年度は更に準備に特化した委員会を設け、50周年に向けたより具体的な準備作業を進めてまいります。諸先輩方が築き上げてこられた直方鉄工青年会50年の節目を皆様と盛大に迎えたく、全員が一丸となりしっかりとした準備を行い、50周年へバトンを渡す所存でございます。



また、今年度末には会長経験者を含む6名の会員が卒業をします。来年度以降も毎年卒業を迎える会員がいるなかで、会員減少に歯止めをかけるべく会員拡大にも努めてまいります。50周年を一緒に創り上げ、更なる飛躍を目指す仲間を募集中です。特別会員の皆様には、入会適齢期のご息やご親類がいらっしゃいましたら、是非ともご入会を後押し下さいます様、お願い申し上げます。また、お知り合いに入会適齢期の方がいらっしゃいましたら、是非最寄りの会員にお声かけ・ご紹介賜りますよう重ね重ねになりますが何卒宜しくお願い申し上げます。

今年度は毎月の例会事業に加え、50周年に向けた準備を行っていくことになり、例年になく活発な会活動となることは必至です。こういった状況下でこそ、会員全員が強い気持ちで戦い挑み決断行動すること、そして50周年に向け一致団結するという思いを込め、スローガンを「FIGHTING MAN～夢は大きく心は一つに～」とさせて頂きました。現役会員のなかには、30周年そして40周年を経験した者もおりますが、それ以降に入会し周年事業に携わったことのない若手会員も在籍しております。しかし50周年、そしてその先の未来を担うのは、そういった若手会員が中心であります。この半世紀という節目に携わっていく事をまたとない好機と捉え、経験ある会員と若手会員とが心をつにし、充実した会活動そして50周年時には大きな達成感を共有するべく、会運営の先頭に立ち戦い挑んでまいります。こうした活動から学びを得た個々が成長し、経営者としての成長が各々の会社を発展させ、また会を更に魅力あるものにしていき、会の活性化そして今後の会員拡大にも繋がっていくのではないかと考えます。

最後に、50周年を迎える我々直方鉄工青年会の会活動へのご理解、より一層のご指導ご鞭撻、そして50周年への更なるご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます、挨拶にかえさせて頂きます。

委員長あいさつ

50周年目前でございます。

このたび総務委員長を仰せつかりました、(株)筑豊産業の小野龍平です。鉄工青年会に入り、今年で4年目になり役員も3年目になります。過去2年間総務副委員長の経験を活かし、今年は主体的に行動し、確実に例会・事業を成功させたいと思います。委員会方針は『結果を残す1年にする』ことです。青年会活動、社業においても結果を残し、実りのある1年間にしたいと思います。来年は50周年という大きな節目を迎えることとなります。私たち若手が役員の中核を担うことは間違いないと思います。経験不足は補えない分、行動力でカバーし50周年を盛大に行うことができるよう精進したいと思います。



小野 龍平
総務委員会
委員長



得居 健
厚生委員会
委員長

平成25年度、厚生委員長を務めます、(株)得居商店 得居 健です。直方鉄工青年会に入会して約5年になり今期、初めて委員長という大役を拝命させて頂きました。厚生委員会としては、今年6名の卒業生を送る夕べを担当させて頂きます。多大な功績を残された先輩方をお送りする事業を担当させて頂き光栄に感じております。委員長になり緊張の毎日ですが、しっかりとした委員会活動、事業をおこなえる様にしていきます。また来年度は50周年という節目も控えており今年準備等でも忙しくなりますが、やる気をもって仕事や青年会活動に全力で臨んでいきます。初めての経験、また若輩者ではありますがご指導、ご鞭撻の程宜しく申し上げます。

今年度、広報・経営委員長を仰せつかりました、(有)水摩組の水摩竜登志です。初めての委員長という役職を日々精進し、成長出来るよう努力していく所存で御座います。また、青年会活動が誰よりも楽しめるように切磋琢磨し、新たなことにチャレンジして行きたいと思っております。広報・経営委員会の委員会方針は、『一致団結』としています。この方針に基づき各事業を委員会メンバーが一丸となり、仕事と両立させ盛り上げていきたいと思っております。経験不足ではありますが、ご指導、御鞭撻の程宜しくお願い致します。



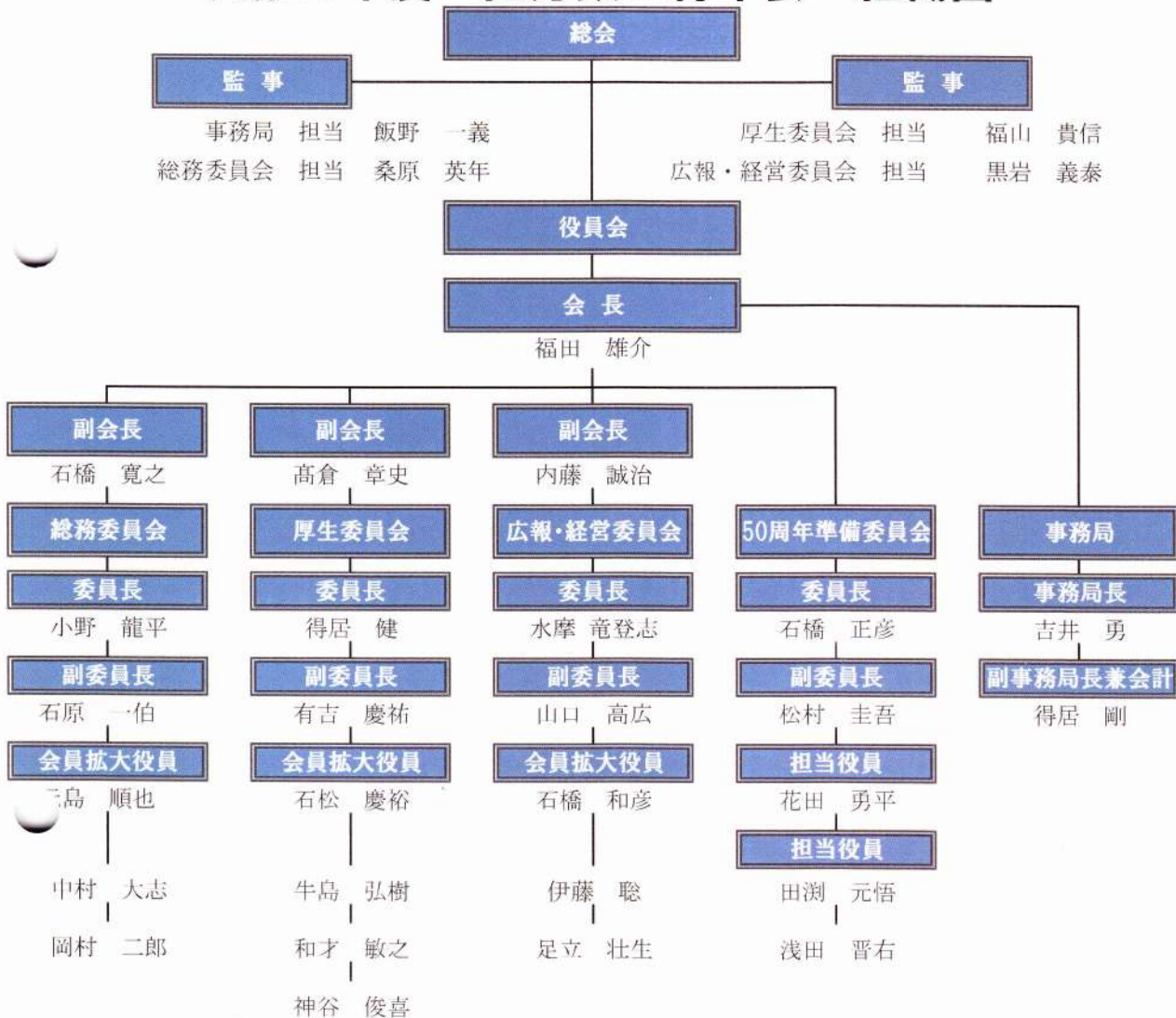
水摩 竜登志
広報・経営委員会
委員長



石橋 正彦
50周年準備委員会
委員長

こんにちは。本年度50周年準備委員長を仰せつかりました、石橋製作所の石橋正彦と申します。直方鉄工青年会は来年でいよいよ50周年を迎えます。49年間諸先輩方が築き、守ってこられた伝統をしっかり受け継ぎ、記念すべき年を我々自身充実したものにすべく、又支えて頂いた皆様が我々現役会員の成長を喜んで頂けるような1年間に出来る様49年目の本年度会員一丸となって準備していく所存です。私自身その旗振り役として皆さんを巻き込んでいく事で充実した一年を過ごし、一番の達成感を味わいたいという一心で1年間会活動に励んでまいります。皆様どうぞご指導の程宜しくお願い致します。

平成25年度 直方鉄工青年会 組織図



平成25年度 年間事業計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	その他
総務委員会	総会 懇親会	例会	例会	例会	例会	例会 例会 スポーツ 事業	例会	例会	例会	例会	総会 懇親会	例会	
厚生委員会					家族対象 事業		自然体験 事業					卒業生を 送る夕べ	
広報・経営委員会			経営事業					産業祭り		特別会員 合同 新年会			瑞雲発行 広報活動
50周年準備委員会		50周年 準備会議											
事務局	手帳作成			夏祭り	初盆参り				忘年会 会長選考 委員会 もちつき		厄払い	会計監査	



**平成25年度4月通常総会懇親会
2013.4.18 於：直方いこいの村**

皆様のご協力により、盛大に開催することが出来ました。有難うございました。



新たな鉄男のご紹介

有限会社 ウエキ化成 神谷 俊喜



今年より人会させていただきました、ウエキ化成の神谷俊喜と申します。人会に際し会長をはじめ会員の方々に温かく迎え入れていただき有難うございます。いろんな企業の方達との交流や参加させていただきます事業等において、今まで一企業の中では得る事が出来なかった「発想」「知識」「情報」等様々な事を学び、またそれを自分の糧として今後の会社経営及び人生に役立てていきたいと考えています。今後の青年会活動の中で地域・社会貢献に少しでも役に立てよう頑張りたいと思いますが、なにぶん未熟な若輩者で至らない点多々あると思います。今後におきましては皆様方のご指導を仰ぐばかりだと存じますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

直方鉄工青年会

福岡県直方市大字植木849-1 (直方鉄工協同組合内)

発行人：直方鉄工青年会 広報・経営委員会 編集責任者 委員長 水摩 竜登志